

これを頼りに樹林帯に入り込み、滝の落口へと抜ける。岩がモロく、ホールドも少ないために、この滝を越えるだけで35分もかかってしまった。

すぐにまたナメ状の滝が出る。5mくらいだが、水量は少ない。その後もナメ状の小滝が続く。やがてナメ床が倒木ト土砂で埋まるようになる。伐採の時のものか、ワイヤーなどもかなり残っていた。

やがて水も濁れ、ヤブがかぶさってくる。右手の支沢に入り、下ヨド沢(仮称)の下降に移る。 (記・1)

[タイム] 河内川橋(7:10)→ヨド沢出合(8:15)→遡行終了(9:40)

ドウス沢

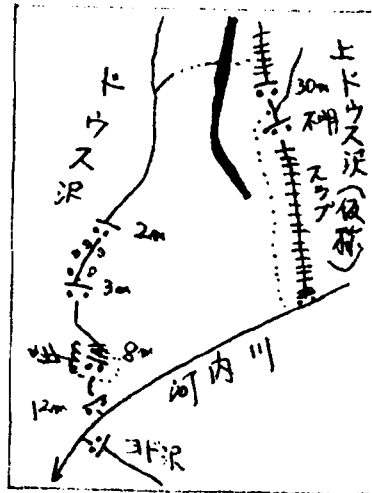
1987年8月2日

1

河内川橋から1時間程でドウス沢出合。8:20。ドウス沢は、出合よりいきなり12mの滝をかける。水量は少ないので、ウェディングシューズのフリクションをきかせて直登する。そのあと5分程で、今度は8m直瀑。ここは登れず、左岸を捲く。このあと小滝を過ぎると、流木が多くなった。

9:25左岸に枝沢を確認する。なおも本流を遡るが、本流はこの先30分程で水の流れもなくなった。10:00遡行終了。確認しておいた枝沢まで戻り、それより尾根に出る。 (記)

[タイム] ドウス沢出合(8:20)→遡行終了(10:00)



上ドウス沢(仮称)

1987年8月2日

1

10:40ドウス沢の遡行を終えて、尾根に出る。尾根には伐採用の作業道があった。10分間休憩してから、下降に移る。11:00上ドウス沢(仮称)に出る。そこから5分も下降しないうちに、30m程のナメ滝。これを半分ほどクライミングダウ